

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 20 年 1 月 10 日
事業所名	グループホーム レジデンシャルケア徳川町
ユニット名	1階
事業所番号	2370200475
記入者名	職名 施設長 氏名 武 早苗
連絡先電話番号	052-933-0888

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		理念を言えるが、自信を持って暗記して言えるようになりたい。
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>		今後も多くの地域や家族の方に理解していただけるように行っていきたいです。
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる</p>	<p>常に地域の協力の下で取り組ませていただ いてます。運営推進会議でも地域の方に理 解していただけるように地域代表、自治会 長、民生委員の方々に参加していただい ています。また、入居の相談を受けたり、 アドバイスをさせていただいています。</p>	<p>運営推進会議や相談業務は管理者が総括 して行っているので事業所職員全体で目 標を持って全員で取組んでいきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価 を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価を実地する意義を全職員が自己 の業務を省みています。また、評価は全 職員に対して提示されています。1ヶ月 に1度のミーティングや業務終了時に 行うカンファレンスで質の向上や改善 に努めています。</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について 報告や話し合いを行い、そこでの意見を サービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議の議事録は毎回詰所内の 掲示され、全職員が熟読するようにし ています。会議で意見をサービスの向上 に活かせるように申し送りや、ミー ティングで報告しています。</p>	
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進 会議以外にも行き来する機会をつくり、 市町村とともにサービスの質の向上に 取り組んでいる</p>	<p>区や市の担当の方を訪ね、アドバイス 及び多方面の情報を提供していただ いています。保健所の方のアドバイスを 取り入れ質の向上に努めています。地 域包括支援センターの方にも運営推 進会議に参加していただいでアドバイ スをいただいています。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持 ち、個々の必要性を関係者と話し合 い、必要な人にはそれらを活用でき るよう支援している</p>	<p>成年後見制度を活用して、職員、管 理者との話を年に数回行っています。 しかし、権利擁護に関する制度につ いて詳しく学んでいません。</p>	<p>勉強会が定期的に設けられているので、 今後のためにも認知のためにも取 組みたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止 関連法について学ぶ機会を持ち、利 用者の自宅や事業所内で虐待が見 過ごされることがないよう注意を 払い、防止に努めている</p>	<p>虐待に対して理解をして、何が トラブルになるのか、またトラブルに 繋がりそうなのかを業務終了後の カンファレンス等を活用して書面に 残し、入居者の対応に活かしてい ます。入浴の際に状態変化はない か健康管理も行っています。より 安全で安心を提供できるように支 援しています。</p>	<p>スタッフ間でコミュニケーションを 図り、更なるトラブルの防止に 努めたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職によって、ご利用者様、御家族様のダメージにつながらないように働きやすい環境を作るように務めて、異動や離職は最小限に抑えられている。		
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修への参加者を募り介護などのレベルアップに努めています。また、全職員に周知できるように勉強会を開催しています。		研修に行った職員の勉強会が開催され、今後このような機会を持ち、自分自身のモチベーションをアップしたい。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者に於ける研修や意見交換を行っています。また、訪問を行いお互いに情報交換を行っています。外部研修などの情報を職員に紹介しています。		
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	随時、職員へのアドバイスや定期的に面談をしてストレスは最小限におさえられています。参考図書等を準備して、業務や介護方法におけるストレスや不安を軽減し、悩みを相談している。		
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	勉強会、ミーティングにおいての適切なアドバイスがなされています。研修への参加の機会を提供しています。得意分野がそれぞれに活かされるように環境が作られています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>状況に応じて積極的にに関わり、ゆっくりと時間をかけて心情を表出できるような雰囲気を作るように努力しています。目線を同じ高さにして傾聴して、声の大きさを配慮して信頼関係を築けるように相手のペースに合わせています。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>御家族様の不安、不満、希望等を受け入れて、安心してご利用できるように務めています。また、訪問しやすい環境作りに務めています。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けたものは、相互理解と柔軟な対応を心掛けて、職員全員で相談内容を共有し、対応しています。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ご利用者様の状況とご家族様の希望に沿い、イベントがある際には呼びかけています。また、訪問時は居心地の良い環境づくりを工夫しています。ご利用者様が安心して利用できるように積極的に働きかけています。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員はご利用者様一人ひとりを尊重して対応し、職員と協力し合って食事づくりに取り組んでいます。掃除、洗濯においても共に行っています。昔話などをお話して下さいますし、それを共感して、お互い支えあいながら過ごしています。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	事業所内でのイベントや暮らしぶりを理解していただけるように務めています。一緒にイベントを楽しんだり支援して下さっています。日々の介護計画に御家族様の要望も取り入れています。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族様もご利用者様も楽しめるように行事を企画して、参加を呼びかけています。また、日頃ご利用者様が訴えていること、喜んでいること、ここでの様子を伝えていきます。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近隣からの入居者様が多いので前住居の話題を積極的にして、散歩しています。また、友人や近隣の方の面会にも歓迎しています。		
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用同士が関わり合い、支え合えるように努めている	精神的、身体的な変化に気づきその時々に応じた人間関係を考慮しています。ご利用者同士支えあい、温かみのある暮らしを提供できるように最善を尽くしています。		
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	手紙などでその後の関係も大切にして、お電話や訪問もしてくださっています。また、その後のお付き合いをして相談や必要な支援もさせていただいています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ご利用者様や御家族様より生活パターンや趣味、嗜好品などをお聞きして、生活にとり入れられるように努めています。また、ご本人様の立場に立って支援を心掛けて介護計画を立てています。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活暦や生活環境に関する情報を日々の会話で収集できるようにして、スタッフ全員が統一した援助ができるようにしています。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>日常生活の行動で、できる事できない事を見極めてできる限りご本人様の機能を大切にしていっていただいています。苦痛にならないように職員が精神的に落ち着いて、楽しめるように心掛けて行っています。</p>	
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>アセスメントシートを作成して、変化に応じて現状にあった計画を作成しています。毎日のカンファレンスの中から情報を出し合い、職員間で共通のプランで介助できるようにしています。また、ご利用者様本位に立って行っています。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に見直しをして、変化が生じた場合は立て直しをしています。また、毎日のカンファレンスから状態の変化などを気づきあい、職員間で共通の介助ができるようにしています。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランをチェックする表を作成して毎日実践結果を記録しています。また、どんな状況であったかは詳しく記録に残して後々に繋げていけるようにしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	状況に応じてご利用者様に対して柔軟に対応できるように支援をしています。また、大幅な職員の変更はなく継続的に支援できるようにしています。体調不良時には病院との連携をとっています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ご利用者様が楽しく暮らせるように定期的に音楽療法、手品、落語、フラダンス、コンサート、社交ダンスなど地域の方が援助してくださっています。また、民生委員や近隣の方が訪問をくださっています。消防署の方や消防団の方とお話しする機会をもっています。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	定期的に訪問して下さるケアマネジャーや他のサービスを他のサービスの業者と話し合う機会を設け、他のサービスを利用する際もスムーズに話し合いができるようにしています。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターの職員の方が、事務所を訪問して下さり、運営推進会議にも参加していただいています。また、ケアマネジャーの方にも利用者様を紹介していただいています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	隔週で医師の診察、毎週訪問看護がなされて連携もあります。適切な医療が受けられるよう支援しています。また、希望するかかりつけ医の診療も受けて連携をとっています。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要時や御家族様やご利用様が望まれる時にも専門医を紹介していただける体制を整えています。医師に相談して適切な診療を受けられるように支援しています。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	毎回訪問看護で健康管理に来てくださっています。また24時間看護師と連絡がとれますので適切なアドバイスを受けられるようになっていきます。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	定期的に病院へ訪問して情報交換を行い、相談員、担当医、担当看護師、御家族様と連絡をとり合い受け入れ体制を整えて早期退院ができるように支援しています。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向け今後の過ごし方を考えて、情報を共有するために御家族様、協力医療機関の医師、看護師、事業所の管理者と話し合い、職員全員で対応できるように体制作りを務めています。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	協力医療機関との連絡を密にとり、ご利用者様の今後起こりうる可能性に備えて医師の説明を受けています。更に支援していただいています。職員間で安全に介助できるように話し合う場を設けています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様と共に食事の準備から盛り付けまで熱心に取り組めるように支援しています。後片付けも皆で行える環境づくりをしています。		
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	入居者様の苦手な食べ物は他のものへ変えて工夫しています。嗜好品はご本人様や家族へ聞き、状況に合わせて楽しんでいただけるようにしています。お酒は行事でお出ししていましたが、嗜好品ではないので今はお出ししていません。		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	ご利用者様、個人の排泄パターンを把握できるようにチェック表を利用してお声をかけたりお誘いして排泄していただいています。ご利用者様の機能に合うように改善し職員も話し合いの場を設けて羞恥心を傷つけないように務めています。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	リラックスのできるように環境を整えて、好みに合わせて入浴剤を入れています。体調やご利用者様の意思で入浴しない場合は無理強いしないで対応しています。入浴を好まない方にはどのように接したら気持ちよく入浴していただけるかスタッフ間で話し合いの場を設けています。		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中のリハビリ体操やレクリエーションを楽しみ、夜間の安眠につながるように務めています。また、一人ひとりの生活リズムに無理がないように必要な休憩をとっていただいています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事づくり、洗濯、掃除などの家事を中心に役割を持っていただけるようにしています。また、一人ひとりの趣味など把握して野菜づくりや水やり、レクリエーションの参加を楽しく参加できるように務めています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買物の会計で、支払いをしていただいたりしてお金を扱うこともあります。最終的には職員が管理しています。		
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気候や一人ひとりの体調に合わせて公園や喫茶店スーパーなど外出できるように実地しています。		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご利用者様の意見を聞き入れてご家族様の協力も得ながら動物園、水族館、外食、お寺参り等支援しています。		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご利用者様より御家族様へ電話をしたり、年賀や手紙を書いたり、やり取りができるように支援しています。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に面会に来ていただけるような環境づくりをしてリラックスできるように心がけています。面会の時間や曜日の限定はしていませんし、常に歓迎をしています。どなたでもリビングや居室で過ごせるスペースがあります。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	常に身体拘束しないために事故が起きないように、最善を尽くせるように職員同士で話し合い、統一したケアに取り組んでいます。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室の鍵はかけていません。しかし、居室を離れる時に、泥棒が入ってくるなどのご利用者様が不安を訴える時は鍵をかけさせていただいています。立地条件上玄関の鍵はかかっています。		
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員同士連携をとって、常に安全で安心して過ごせるようにプライバシーに配慮して安全の確認に務めています。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物は台所、洗剤は洗濯室、石鹸は洗面台と適切な場所に置いてあります。それらへの注意は必要であり、入居者様一人で台所や洗濯場へ行かれる際は苦痛にならないように共に行動できるように職員は配慮をしています。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故を未然に防ぐために、ミーティングやカンファレンスで話し合う場を設けています。また、ヒヤリハットの報告について話し合い、事故の防止の対策を考えています。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時やご利用者の事故発生時の初期対応の訓練や学習会を行っています。また、連絡網も整えています。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練、消火訓練を行っています。また、地域住民や民生委員、消防団等の働きかけをしています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p> <p>家族の面会の時やお手紙等でご利用者様の近況報告を行い、説明しています。事故があった際には御家族様に直ちに連絡をとり報告しています。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> <p>毎日の血圧測定、検温、1ヶ月に1度の体重測定を行い、体調の変化には早期に対応して職員同士申し送りの徹底をしています。また、協力医療機関への連絡を行っています。</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> <p>内服薬の説明書を職員全員で確認して内容を把握しています。状態の変化を観察して必要時に協力医療機関と連携をとっています。</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> <p>自然な形で排便が促されるように水分摂取と乳製品の摂取を心掛け、食事にも配慮しています。毎日便秘予防体操や腹部マッサージに実地を行っています。</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p> <p>1日3回毎食後声掛けして口腔内を清潔にさせていただいています。必要な方には職員が介助して行っています。また、歯科医より定期的にブラッシングのご指導をさせていただいています。</p>		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> <p>食事に偏りがないように職員が栄養のバランスを考慮して食事づくりを行っています。食事量、水分量を表に書き出して職員で把握し状態の観察をしています。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	外出後のうがい、手洗い、排泄後や食事前後の手洗いを徹底しています。感染の予防の対策、発見時の対応や二次感染の予防について資料を熟読し、換気、消毒、手洗い、うがいなど感染予防に努めています。ドクターエアータオルで手洗い後に殺菌しています。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具など常に清潔と衛生を保つためにハイターを使用しています。冷蔵庫内の掃除も徹底して行っています。食中毒などの対策で、毎食全ての調理品を冷凍庫で保管して、万が一の際原因を確かめることができるように努めています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	周囲の建物となじんでいて、温かみのある色調になっています。玄関周りも植木や季節の花を植えています。玄関周辺も毎日掃除を行っています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合った飾り付けを行い、季節感を出しています。ご利用者様の絵や写真などが飾られています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル席、リビング、ソファ、畳スペースと個々が思い思いに過ごせるように工夫しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	御家族様に相談しながら使い慣れた家具を持っ ていただいています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	居室、リビングの換気も毎日定期的に行ってい ます。空調の配慮も小まめに行っています。生活 においての臭いにアロマランプをたいて、リラク スのできる環境を整えています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	ご利用者様に合った福祉用具を使用して、自立 した生活を送れるようにしています。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	トイレにわかりやすく目線に入る高さに表示して あり、居室で混乱の原因になった方には矢印など わかりやすいように配慮しています。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	ベランダにはリビングから眺められるように花や 野菜を作り、庭には畑を作り一緒に収穫をしてい ます。洗濯物を干す時も一緒に行っています。 ゆったりと日光浴やお茶をして過ごすこともあり ます。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)